

The Lions News

DISTRICT 330-A LIONS CLUBS INTERNATIONAL

<http://www.lions330-a.org/>



2012 Winter



- ライオンズ奉仕デー 10月8日東京都庁前広場
- 女川秋刀魚獲祭in日比谷 10月20日日比谷公園
- OSEALLレポート 福岡県福岡市
- 江東区民まつり中央まつりを協賛 江東区ライオンズ連合
- 「ドレミファコンサート」に協力 地区社会福祉・障がい者支援委員会
- 薬物乱用防止教室特集 第9R「薬物乱用防止教室」実行委員会ほか
- キャビネットだより 地区内各地区のガバナー公式訪問を終えるなど
- 地区内クラブだより “秋葉原ライオンズクラブが30回目の少年柔剣道大会” ほか

撮影：L荒川友美子



10月8日

ライオンズ奉仕デーに 地区内外のメンバーが集結

東京都庁前広場で薬物乱用防止と
オリンピック・パラリンピック招致を呼びかける



2012年10月8日東京都庁前都民広場にて、330-A地区薬物乱用防止並びにオリンピック・パラリンピック招致支援委員会が主催する「ライオンズの集い」が開催された。地区内ライオンズメンバーのほか、千葉県(333-C地区)からも友好メンバーらが駆けつけた。さらにライオンズが支援する青少年や関係者など総勢1,600人の方々が、呼びかけに応じて参加した。ステージでは日本代表のキッズダンスチームの実演、さらにロンドンオリンピックの金メダリスト米満達弘選手や小原日登美選手、歴代オリンピック金メダリストが登場し、子供達との交流で子供達の「世界への挑戦」への意欲をかき立てた。さらにこののち、日大応援リーダー部「DIPPERS」のチアダンス、陸上自衛隊第1音楽隊の歌や演奏に参加者は大いに魅了され、参加者がそろって「2020年に東京へオリンピック・パラリンピックを招致しよう」という目的を確認し、国や人を破壊する薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」宣言を全員で、シュプレヒコールを行って終了した。

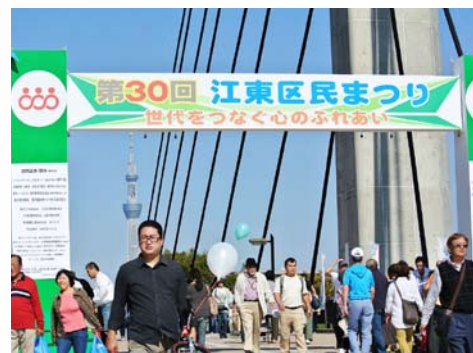


「第30回江東区民まつり」でも ライオンズクラブが大活躍

東京江東LC、東京江東南LC、東京深川LC、
東京城東LC、東京江東中央LSC

10月20日・21日

2012年10月20日(土)、21日(日)東京都江東区の木場公園に於いて行われた「第30回江東区民まつり中央まつり」に参加し、献血を呼びかける運動や2020年東京にオリンピック・パラリンピックを呼びかける署名運動を実施した。運動に参加したのは東京江東LC、東京江東南LC、東京深川LC、東京城東LC、東京江東中央LSC(通称:江東区ライオンズクラブ連合)の5クラブ、メンバー約60名が参加した。往来する人々に献血を呼びかけた結果、123名の申し出があり、106名の方が献血をした。また、オリンピック招致を呼びかける運動でも約2000名もの方から署名を集めた。このほかオリンピック招致ピンバッジ1000個、クリアファイル1000枚、ポケットティッシュ2000個の配布も行い「江東区民まつり」を盛り上げた。さらに、メンバーの家族やライオンズクラブメンバーからも、運動に協力してカレーライスを約600食販売した。両日は秋晴れの天候に恵まれ、多くの人出があり、実行委員会などによると二日間で約20万人の人が参加したと伝えられる。「江東区民まつり」は今年で30回を迎えたが、日比谷公園の三倍ともいわれる広大な敷地を持つ公園内のいろいろな会場にて、毎年、ふるさと祭りバザール、産業展、障害者作品バザー、歌謡ショーステージ、フリーマーケット、民俗芸能大会といった様々なイベントが行われ、地元江東区のライオンズクラブが大活躍している。



ドレミファダンス コンサートの協賛

10月20日

地区社会福祉・障がい者支援委員会

2012年10月20日 15:00～ 渋谷公会堂にてドレミファダンスコンサートが開催され、地区社会福祉・障がい者支援委員会が協賛した。参加者は全部で2,020人、ライオンズメンバーの参加者は約120人とのこと。コンサートでは 約700名のダンサー(小学生～社会人まで)が音楽とダンスを通して障がい者およびその保護者らと交流を深め、お互いを理解し合い、同じ時間と空間を共有した。多くの若者のパワーに圧倒された意義深いアクティビティであった。詳細は地区ホームページの動画をご覧ください。(レポート:地区社会福祉・障がい者支援委員会)





第51回OSEALが 福岡にて開催される

第51回OSEALが福岡県福岡市にて開催され、アジア地区のライオンズクラブメンバーが福岡に集結した。福岡市内の国際会議場にて受付を済ませたメンバーはそれぞれ開会式の会場となった“マリンメッセ福岡”に向かった。会場の間には野外テントでフードフェスティバルが開催され、多くのメンバーが楽しんでいった。開会式では、実行委員長の挨拶の後、福岡県知事、福岡市長が歓迎の挨拶を述べ、国際会長からプレゼントが手渡されると、知事や市長からも地元の名産品などが渡された。この後、挨拶した国際会長はライオンズクラブが社会においてさまざまな奉仕活動で果たす役割を説明した後、「アジア地域のクラブやメンバーにその活躍を期待する」旨のメッセージがあった。広報委員会が調べたところによると、この日の参加者、メンバーは合計約16,800名、そのうち日本のメンバーが約14,100名、韓国約1,500名、三番目が台湾約850名、シンガポール約90名、タイ約60名、香港約40名、グアム17名、中国12名の登録があった模様。また、このほかにもモンゴルの女性メンバーが10名近く参加しており、開会式会場の近くで開催される大相撲九州場所から横綱、日馬富士関ほか三名の力士が開会式に駆けつけると大きな歓声を送っていた。また、開催期間中には、環境セミナー、リーダーシップセミナー、ソーシャルメディアセミナー、ライオンズクエストセミナー、LCIFセミナーなど多数のセミナーが開催され、中でもライオンズクエストセミナーは会場に入りきれないほどのメンバーが集まった模様。閉会式ではドイツハンブルグでの国際大会参加を促すメッセージと、来年シンガポールにて開催されるOSEALでの再会を期したメッセージが伝えられた。



51th OSEAL FORUM



地区内14リジョンのガバナー公式訪問を終える

9月4日～10月15日



2012年9月4日(火)第11リジョンをはじめに地区内11リジョンに分けて行われたガバナー公式訪問を終えた。なかでも7Rガバナー公式訪問は9月13日(木)東日本大震災で救助活動に貢献した陸上自衛隊練馬駐屯地にてガバナー公式訪問合同例会が行われた。朝、早くにもかかわらず第7R総勢15クラブのメンバーが集結した。事前懇談会に於いて阿久津ガバナーは、「各クラブは、会員増強等、色々な悩みを抱え試行錯誤しながらクラブの活動を行っていると思いますが、解らない事や、相談したい事などにかく声をかけて欲しい。キャビネットには、様々な委員会があり、その分野に長けた方を委員長に据えています。こちらに来いというのではなく、キャビネットからご説明に行きます。また、ホームページでは、様々な情報を発信しています。是非ご覧になって参考にして欲しい。今回、震災時活躍された自衛隊にて合同例会を行えるのは大変喜ばしい事」と話した。

また、合同例会には、練馬駐屯地内体育館にて、練馬第一師団幕僚長一等陸佐九鬼東一氏参加のもと行われ、九鬼幕僚長はその後の懇親会であいさつ「我々、自衛隊も国のもとではあるが、震災時の救援活動など、国民の皆さんが幸せな生活が送れるよう日々努力しています。そういった意味では、奉仕を掲げるライオンズクラブの皆さんと心は同じです。今回、練馬駐屯地にて合同例会を開いていただいた事にこちらも感謝したい」と述べた。

7Rではこれまで数回、練馬自衛隊駐屯地にて合同例会を行っているが、初めて参加したメンバーは、「震災時、活躍した自衛隊の駐屯地で例会が出来て光栄だ」「日頃、滅多に立ち入れない場所なので、緊張した」「今回、自衛隊の皆さん



と同じ昼食を共にしたが、美味しかった」「女性の自衛官が多いのでびっくりした」等の意見があり、駐屯地という厳粛な場所でありながらユニークな合同例会となった。(取材：広報委員会副委員長 山口聖之)

締めくくりとなった第14リジョンの公式訪問は、2012年10月15日(月)昭島市の「フォレストイン昭和館」にて行われ、12クラブとライオネス1クラブ合計13クラブ約250名のメンバーが参加して行われた。地区ガバナーはあいさつ「なかで地区運営方針として「60年を迎えた日本のライオンズクラブも、原点に戻って使命を再確認し、基本となるクラブ活性化の為にキャビネット運営をして行く所存」と話し、さらに「退会会員を防止し、会員増強を目指すよう」要請した。そのために「キャビネットの委員会を活用してほしい、要請を受ければクラブを訪問して相談や説明などのバックアップをしていきたい」とした。14リジョンには今期10名の新入会員があったと報告され、この日参加した6名一人ひとりに対し地区ガバナーは直接ラベルピンを着けて励ました。第14リジョンは1Zの7クラブで210名平均30名、2Z5クラブは227名平均45名と地区内では比較的メンバー数の多いクラブで構成されており、参加したメンバーは活気に満ち溢れていたという。(取材：広報委員 L高橋美作)



ウェイン A. マデン 国際会長公式訪問

9月21日 パレスホテル東京

2012年9月21日(金)、ウェインA.マデン国際会長の公式訪問式典が、パレスホテル東京にて開催された。ホスト地区となった330複合地区ガバナー協議会議長L河合悦子ほか日本のライオンズ代表らが歓迎を表明した。これに応え、国際会長は講演で「本年は現状を打破し、変革(CHANGE)を進めなければならない」との熱いメッセージを送った。

(レポート：IT合理化・事務局緊急対応委員会)



第1回全日本GMTコーディネーター会議開催

10月26日



従来のMERLプログラムから新しく組織替えしGMTとGLTの2チーム体制となって今年度で2年目となり、10月26日(金)八重洲富士屋ホテルにてGMT会則副リーダー山浦晟暉L、GMTエリアリーダー(東日本、)後藤忍L、GMTエリアリーダー(西日本)高田順一Lの主催でMD・GMTコーディネーター及び地区・GMTコーディネーターを対象に開催された。当日は各地より40名のメンバー出席のもと現国際理事でもある高田順一LよりGMT国際報告・新年度目標の説明、続いて東日本、西日本GMTエリアリーダーより各地区ガバナー第一四半期の活動状況説明があり、さらに8複合地区のコーディネーターより現況報告があった。330A-地区を含む準地区GMTコーディネーター数名より成功事例が発表された後、6テーブルに分けて会員増強、会員維持、新クラブ結成について議論をしてその結果を発表した。会場の関係で僅か3時間の慌ただしい会議であった。詳しい内容は該当委員会などで説明する予定である。

(レポート：330-A地区GMTコーディネーター L日下勲)

LCIFセミナーが開催された

9月28日

地区LCIF委員会



2012年9月28日(金)明治記念館「鳳凰の間」においてライオンズクラブ国際協会LCIF資金開発オセアル担当課長田辺憲雄氏による「LCIFの献金と交付金」についてのセミナーが行われた。セミナーでは東京ライオンズクラブならびに東京ウィルライオンズクラブからの申請事例の紹介などがあり、参加者らは質疑応答を通じLCIFに関する理解を深める機会となった。



地区内クラブだより

東京秋葉原ライオンズクラブが第30回八署対抗少年柔剣道大会を主催

9月22日

東京秋葉原LC



青少年の健全育成に貢献する大きな大会に発展

東京秋葉原ライオンズクラブでは東京柳橋LCの共催を得て、今回で30回目となる「第30回八署対抗少年柔剣道大会」を主催した。2012年9月22日(土)会場となった中央区立総合スポーツセンターには朝早くから出場選手達の父母、関係者ら約200名に加え、少年らの柔剣道を指導、応援する立場から警視庁築地、中央、上野、下谷、浅草、蔵前、久松、万世橋の八署の署長ほか警察関係者約100名、出場選手柔道94名、剣道72名が熱い戦いを披露した。ライオンズクラブからも地区ガバナーのほか第1副地区ガバナー、第2副地区ガバナーも観戦し、声援をおくった。主催者を代表して秋葉原LCのL夏目幸生は「柔剣道を通じて少年たちの健全な成長にエールを送るとともに、礼に始まり礼に終わる日本古来の武道の精神を修得して欲しい」「少年たちのひた向きな姿に感動した」と長い間応援してきた同クラブの立場を振り返った。取材:広報委員会



今年で5年目、農業体験などで子供たちの健全育成に貢献

10月10日

東京秋川LC

東京秋川ライオンズクラブでは、子どもたちの健全育成に役立つとして、今年で5年目となる継続事業(田植え・稲刈り・もちつき)の3点セットが定着してきた。今年も実りの秋を迎え、地元の小学5年生の子どもたち約100名が稲刈りを体験した。クラブが用意したお揃いのTシャツを着た子供たちは、各班に分かれ瞬間に豊かに実った稲が刈り取られていく。案内を受けた地区ガバナーも子供たちと一緒に体験して楽しそうに作業していた。刈り取った稲を束ねたのち、落ちた稲穂をもう一度拾い集め、(一粒一粒を大事に集めることも勉強しながら)はざ掛けして天日干しにした。これらの作業を約1時間30分ほどで終了したが、刈り取る間にはカエル、バッタまた野ネズミそして蛇(マムシ)まで出てきた。さいわい、誰も咬まれることなく無事だったが、もし子供が咬まれていたら、一大事になっていたであろう。(捕獲をしてメンバーの一人が持ち帰った)。終了後は、地区ガバナーを含めたメンバーらと共に全員で記念写真を撮影し子供たちにはあんぱ



んとジュースが配られた。12月にはこの刈り取ったお米で、小学校のグラウンドを借りてもちつき大会を実施する。(情報提供、並びにレポート:東京秋川ライオンズクラブPR情報委員会委員長L伊倉淳一、L石塚晴夫)

小学校低学年のサッカー大会第1回北区ライオンズ杯を開催

9月29日・30日

東京中央南LC



2012年9月29日(土)30日(日)の二日間にわたり、7R1Z東京中央南ライオンズクラブは、北区北運動場にて第一回北区ライオンズ杯小学校3年生サッカー大会を開催した。この大会は、ライオンズクラブが計画して、北区サッカー協会少年少女委員会の協力と、北区教育委員会の賛同を得て行われた。開会式では、花川北区長が「皆さんの協力の下、初めて北区ライオンズ杯を行う事が出来た。選手のみなさんには、勝敗を気にせず元気に走り回りがんばって下さい」と子供たちを励ました。大会はグループ総当たり戦で、小学3年生とは思えない激しいボールの奪い合いや、テクニックで観客を喜ばせた。閉会式にあたり山口会長は、「皆さんのボールを追う姿を見て、感動と勇気を感じた、世界中の子供達のなかには、スパイクはおろか、ボールが一つしか無い所でサッカーをしている。自分達の力ではどうする事も出来ない環境に置かれた子供達のためにもサッカーを出来る喜びを感じて欲しい」と語った。選手の保護者らも「ライオンズを通じてこのような大会があり、子供たちも大変喜んでいる。これからも大会が続く様、我々も協力したい」と大変喜んでおり、同クラブは継続して支援していく方針である。



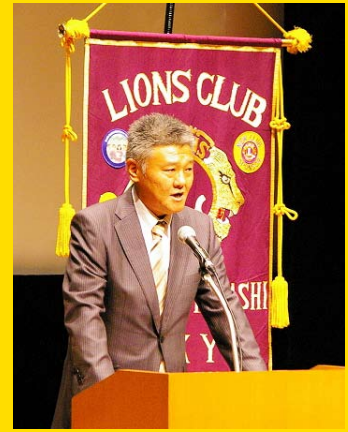
映画「大津波のあとに」上映会を開催

10月18日

東京江戸川東LC



東京江戸川東ライオンズクラブは10月18日(木)都内のタワーホール船堀において、映画「大津波のあとに」上映会を開催した。当日は台風による影響で強風の雨という天候にもかかわらず約240名程のライオンズクラブ関係者が参加した。参加者は皆、真剣に映像を見つめ、震災後1週間ほどしか経過していない被災地の様子を映像を通じて知り、改めてあの日に何が起こったのかを感じさせられた。同クラブメンバーは「私たちは忘れない」をテーマに開催した上映会でしたが、みなさんの記憶にあの日のことが蘇ったことでしょう。上映会後に行われたミニライブも「好評でした、素晴らしい歌声と演奏に会場が一つとなり、楽しい時間の共有ができたと思います」と話していた。また、会場では震災孤児へのエイド基金「いわて復興エイド基金」への募金も行われ、242,375円の募金額が集まり、募金は、同クラブがチャリティゴルフコンベンなどで集めた寄付金106万円とともに、「全額いわて復興エイド基金」に贈らせていただきますとのこと。



原宿、表参道で「盲導犬育成協力募金」活動を実施

10月27日

東京原宿LC・東京神宮前LC・東京世田谷LC

原宿LC・神宮前LCの「盲導犬育成協力募金」合同アクティビティに世田谷LCからも石上会長・畠山幹事・L亀川・L進藤の4人で参加しました。原宿駅から表参道交差点まで5か所で募金を行ったが、我々は神宮前交番脇の担当。最初にお巡りさんが募金して下さったほか、さすが表参道、人が途切れることなくひっきりなしに通るし、盲導犬もその場にいたので多くの方が足を止めて盲導犬と触れ合って、募金してくれた。「犬を飼っている方はまず自分の指のにおいをかぎせるのですね。こうすると犬が安心するのです」と話してくれた。5か所で午後1時から4時まで募金を呼びかけ32万円強の募金が集まった。盲導犬協会の飯田さんは「盲導犬を連れていたら入店を拒否してはいけないという障害者補助犬法が10年前にできたにもかかわらずレストランでも入店拒否が後を絶たない。雪が降る冬の寒い日にテラス席に誘導されることもある」と聞き、盲導犬を育成するだけでなく、障害者が普通に暮らせる社会にするためにはまだまだ普及啓発・意識改革が必要だと感じた。レポート:L進藤義夫(世田谷LC)



第7回子ども囲碁大会を開催

10月14日

東京みやこLC



東京みやこライオンズクラブが主催

東京みやこライオンズクラブは2012年10月14日(日曜日)午後1時より午後5時まで、杉並区の西荻南区民集会所において第7回子供囲碁大会を主催した。東京みやこライオンズクラブが継続アクティビティとして数年前より毎週土曜日に開催している子供囲碁教室の生徒、それから近隣の小中学生、幼稚園生など38名がメンバーや保護者の見守り中、日頃の練習の成果を競いあった。競技終了後に行われた表彰式では、有段者クラス、19路盤Aクラス、19路盤Bクラス、それから13路盤の4クラスにおいて上位3名に表彰状と図書券の副賞、それから各クラス優勝者にはトロフィーが当クラブの栗原会長より手渡された。この大会は当クラブが年2回開催、囲碁を習っている子供たちを対象に、練習の動機づけと成果の確認を目的に主催しているもので、特に「囲碁教室に参加の子供たちには挨拶、片付け、ルール厳守など集団においての基本的なマナーの向上にも役立っているように思う」と同クラブメンバーらは話している。



地区内クラブだより

地区ガバナーが「第15回ドナーファミリーの集い」であいさつ

10月14日

東京麻布LC



視力障害者らのランニング大会 ではスターターを務める

2012年10月14日(日)千代田区大手町のKDDIホールにて行われた「第15回ドナーファミリーの集い」(主催:角膜センター・アイバンクほか多数の共催者、厚生労働省ほか東京麻布ライオンズクラブなど多数が後援)にて地区ガバナーが「ライオンズは視力を失った人々への奉仕活動に協力したい」とあいさつした。この後、視力障害者らが参加して行われた皇居周回の「ラン・フォー・ビジョン」でも地区ガバナーがスターターを務めた。主催者は「角膜移植のために献眼した崇高なドナー並びにご家族に心から敬意を表する」とし、「移植を受けた患者や医師及び活動を支えてくれているライオンズクラブの方々を招いて、共に過ごす機会が大切だと考えている」と説明している。東京麻布ライオンズクラブは東京歯科大学市川総合病院の角膜センター設立を支援したのちも同センターの運営や、献眼活動を支援して奉仕活動を行っている。

東京ウィルライオンズクラブがチャリティコンサート

11月1日

東京ウィルLC

きれいな水をラオスの子供たちに・東日本大震災復興支援

2012年11月1日(木)赤坂のサントリーホール・ブルーローズ(小ホール)で東京ウィルライオンズクラブ第11期アクティビティ、「きれいな水をラオスの子供たちに・東日本大震災復興支援」とする「チャリティコンサート」が開催された。あいさつに立ったL福永会長から、東日本大震災の復興を願うスライドの紹介があり、その後同クラブが2004年より継続して実施しているラオスへのアクティビティ内容がPPTで紹介された。LCIFに申請、受理され、現地ピエンチャン近郊の学校に井戸と水洗トイレの設置計画が実現に向けて進んでいる報告がなされた。コンサートには東日本大震災の被災地から東京地区に避難されている約80名の方々も参加した。コンサートでは、「JIN-仁」のテーマ曲などで有名な二胡奏者「ウェイウェイ・ウーさん」の軽快な演奏とユーモアあふれるトークなどを楽しみ、大いに盛りあがった会場は「上を向いて歩こう」の大合唱(約300人)で幕を閉じた。



目黒川周辺の美化・清掃活動を実施

10月6日

東京目黒LC

日本スポーツ少年団創設50周年記念事業の一環として「スポーツによる青少年健全育成」を理念とし、地域に根ざした青少年団体に対する東京目黒ライオンズクラブの交流後援事業が、快晴のなか2012年10月6日(土)目黒区立田道広場公園にて行われた。参加スポーツ少年団130名、保護者および指導者、当クラブメンバー40名の参加にてお揃いのチョッキを着て3グループに分け公園周辺や目黒川周辺の美化・清掃活動を実施した。活動には地区ガバナーも参加した。同クラブでは「清掃美化活動に参加することで青少年の健全育成のみならず日常の道徳・教育の一環として有意義」だとしている。



石巻産雄勝石の壁画「輝く」 東京駅に設置

9月29日

合同アクティビティ



2012年10月改装された東京駅のグランドオープンに先立ち、同駅構内の丸の内地下南口にて9月29日(土)、午後2時より石巻市雄勝町の石で作った壁画「輝く」の除幕式が催された。

石巻市は、大津波で壊滅的な被害を

受け、特に雄勝硯で有名な石の産地、雄勝町も甚大な被害を受けたが、仙台で活躍する石絵作家の齋藤玄昌実さんは、被災した子どもたちに夢を持ってもらおうと、わずかに残った雄勝石を使って改装中の東京駅に壁画を設置しようと呼びかけ、この呼びかけに仙台青葉ライオンズクラブが応じ、さらに同クラブと震災支援などで交流のあった東京ワンハンドレッドLCに協力の依頼があった。依頼を受けた同クラブは、2011年10月にメンバーが現地へ赴き、雄勝の現状を視察、齋藤先生が立ち上げた雄勝石復興NPOに、壁画の設置を目的とした資金の提供を決め、さらに東京数寄屋橋LC、東京LC、東京飯田橋LC、東京志村LC、東京イーストLC等にも協力を依頼し、この石巻産雄勝石の壁画設置が実現した。除幕式の当日は、石巻の小中学生38人も参加し、330-A地区ガバナーほか多数のライオンズクラブメンバーも参加した。壁画の説明には「この石絵が東日本大震災後の復興と更なる発展・進化のシンボルとして震災により被災した全ての子供達の勇気と誇りの糧となり、未来に向けて語り継ぐものとなることを願ってやみません」と書かれている。

情報提供: L根本二郎(東京飯田橋LC)、東京ワンハンドレッドライオンズクラブITPR委員会



東京隅田川ライオンズクラブの献血活動

9月7日

東京隅田川LC

JR錦糸町駅前丸井付近で献血呼びかけ



東京隅田川ライオンズクラブは2012年9月7日(金) JR錦糸町駅前丸井付近で献血の呼びかけ活動を実施した。当日は東京隅田川LCのメンバー12名が参加した。同クラブでは毎年献血呼びかけ活動を実施しており、この日も78名の方から献血の申し込みを受け、55名の方から献血いただいた。毎年献血いただく顔見知りの方もいるという。同クラブでは「ますます継続に意欲を感じた」と話している。



第11回ピポ・ユニバーサル駅伝大会に協賛

9月16日

東京セイシんLC

ふれあい運動会に協賛

10月21日

東京桑都LC



東京桑都ライオンズクラブはふれあい運動会に協賛している。2012年10月21日、快晴の元八王子市富士森陸上競技場で開催され、「障害のある人もない人も共に」を合言葉に元気な歓声が響いていた。



NPO法人コミュニケーション・スクエア(CS21)ほかが主催する“第11回ピポ・ユニバーサル駅伝大会”が2012年9月16日(日)10時20分~13時20分 国立霞ヶ丘競技場周回コースと新宿区立四谷第六小学校で開催され、東京セイシんLCほか協賛した。この大会は、ユニバーサルな共生社会の具現化を目指して、国籍や男女年齢を問わず、高齢者から子どもまで「障がい者と健常者」が互いの違いを認めあって1本のタスキをつなぐところに大きな特徴と意義ある大会である。残暑の厳しいこの日、外国人障がい者7人を含む約300人の参加者があり、全体で20チームとなった。競技内容は、競技時間を競うのではなく各チームで目標タイムを設定して5区間(一区:約1km)を5人の走者(車いす、視覚障がい者、小学生、高齢者、フリーランサー)と伴走者とボランティアを含め10人でタスキをつなぎ、完走を目標にチームの仲間との交流に重点を置いた駅伝競技となっている。東京セイシんLCは10年に亘りこの大会をサポートしており、障がい者・健常者合同ボーリング大会なども支援している。地区ガバナーは来賓として「ユニバーサル社会の実現に向けて、ライオンズクラブが他団体との交流を深め、街の問題に対して力を合わせて地域社会の活性化に尽力することが重要である」とあいさつし、選手として競技にも参加した。レポート: L高橋輝之(東京セイシんLC会長) L加藤敏彦(地区社会福祉・障がい者支援委員会副委員長)



大田区立東調布第一小学校で薬物乱用防止教室

10月17日

9R1Z合同AC委員会「薬物乱用防止教室」実行委員会

初めて“薬物乱用防止教室”を実施した 東京都大田区立東調布第一小学校を訪問

2012年10月17日(水)東京都大田区立東調布第一小学校にて同校では初めてとなる“薬物乱用防止教室”を同校の4年生、5年生、6年生の総勢約350名の児童に



実施した。広報委員会では活動の内容を地区内のメンバーに知らせるために同行して取材した。この日参加したメンバーは東京大森ライオンズクラブからL松田貞男(実行委員長)、L木村晃一、L高橋貞夫、東京蒲田ライオンズクラブからL板鼻利衛(クラブ幹事)、東京羽田ライオンズクラブからL沼田允利(クラブ幹事)、L中吉淳喜、東京荏原ライオンズクラブからL清水昭洋、L小川陽子、東京ウイングライオンズクラブからL坂本弘(クラブ会長)、L馬橋靖世(この日の教室講師、クラブ幹事)L村上誠(講師補佐)、L堺田明美、L田中健の合計13名。



9R1Zでは毎年近隣の小学校で10回程度“教室”を実施

9R1Zでは毎年10回程度大田区・品川区内の小学校にて“薬物乱用防止教室”を積極的に実施しており、区の教育委員会などから評価を得ている。この日は同校で初めての“教室”実施のきっかけとなったのは区内の学校長が集まり情報交換などを行う“校長会”にてL松田貞男実行委員長の話により“教室”のことが知ったからだという同校の校長先生にお話を聞くことができた。この日集まったライオンズクラブメンバーは学校の先生の出迎えを受け、まずは校長室に案内されたが、なんと「靴入れ」に各メンバーの名前が貼られているのに気が付いた。L松



田貞男も「いろいろな学校で実施しているが、こうした対応は初めてなので期待を感じる」と感激した様子。

“校長会で話を聞いて決めた”と言う前向きな校長先生のお話

案内された校長室では相川哲也校長から様々な話を聞くことができたが、なかでも「校長会で話を聞いてすぐに“薬物乱用防止教室”実施を決めた」「こうしたことを教えてもらうには、だれに頼んだらよいかわからなかった」と校長先生自身が子供たちを薬物の乱用などから守るために積極的であったことがうかがえた。さらに“認定講師”の存在も知らなかったという。同校は明治時代開校の130年もの歴史を持つ古い学校でもあるが、この日の“教室講師”L馬橋靖世が同校の卒業生ということもあって学校の歴史などに話がはずんだ。こののち案内された会場の体育館にはプロジェクターや“ダメ。ゼッタイ。”の垂れ幕などが掲げられ、子供たちが整列してやってきた。4,5,6年生約350名がそろって広い体育館も広さを感じないほどだ。さっそくビデオなどを見たりして約15分間の説明が終わり、薬物を乱用した際の恐ろしさや、巧みな方法で近づいてくる誘いに、「いかに断るか」などを勉強した。



子どもたちから、関心の深さと知識を感じる質問が…

このち子供たちからの質問を聞くと「薬物を乱用すると自身が被害者になるのに、国によっては死刑になるのは、なぜ?」とか「脱法ハーブは売る人たちを実験台にしているの?」など突っ込んだ質問や、それなりの情報を持っていると感じさせる質問に驚いたが、先生が時間を理由に質問を打ち切るほど子供たちの関心の深さを感じさせられた。“教室”終了後、参加した実行委員の一人から「4年生を対象に実施したのは初めてですが、手ごたえを感じました」と話を向けると相川校長先生も「子供たちはインターネットなどで情報を得ているので、若年からの教育が大切」と話していた。



地区内の各クラブやリジョン、ゾーンの単位でも活発に薬物乱用防止を呼びかけている

今回の取材は9R1Zが実施する活動のごく一部しか出来ていないが同地区のクラブが実施してきた活動を知る貴重な機会となった。同地区のほかにもこうした活動が活発に実施されており、ライオンズクラブの奉仕活動の柱となっている。(取材:地区広報委員会)

青梅市の小学校で「薬物乱用防止教室」を実施

10月12日

東京羽村LC

東京羽村ライオンズクラブは2012年10月12日(金) 東京都青梅市河辺小学校の5年生、6年生の生徒約200名並びに教職員や保護者を含む約220名を対象に「薬物乱用防止教室」を実施した。同クラブの会長ほか7名のメンバーが参加、会長挨拶後桐井講師と浦野幹事によるDVD&パワーポイントを活用した講義、続いてメンバー4名が「売人の後輩で気が弱い浪人生」「浪人生の友人」「地域の市民パトロール」の役を演じた寸劇を行った。寸劇の後半では先生らを巻き込んでの熱演が繰り広げられ、参加者を沸かせた。締めくくりには、学校生徒、保護者、先生方を含めた参加者全員で「ダメ。ゼッタイ。」を三唱した。さらに終了後は保護者との意見交換が行われ、「今時、今日の俳優みたいな売人はいないと思うが子供達に対するインパクトは大きいと思う」「将来、もしこんな場面に直面したら、子供達はきっと今日の事を思い出してくれるのでは」と売人役を演じたライオンズクラブメンバーは話していた。14リジョンでは毎年、小中学校やその他団体を含め15~20回、「薬物乱用防止教室」を実施している。東京羽村



ライオンズクラブの今期薬物乱用防止委員会委員長は、「今期もすでに、市内外の小中学校5校から実施依頼を受けており、地域の子供達を守る為に更なるスキルアップを目指します」と語っていた。



中野区の学校で「薬物乱用防止教室」を実施

10月13日

東京ウエストLC



東京ウエストライオンズクラブでは昨年に引き続き中野区立新井小学校(鈴木秀治校長)体育館に於いて薬物乱用防止教室を開催し、5年生・6年生の児童139名、父兄20名と地域指導員10名が参加した。45分に亘り授業が行われたが、子供たちは配布された資料の漫画などを見ながら熱心に聞き入っていた。この地域では薬物乱用防止活動に限らず、地域の防犯や子供たちの健全育成に対する意識や活動が活発で、授業終了後に校長先生はじめ、教師、地域指導員、父兄など約50名が参加して意見交流会が行われ、我々メンバーも参加して意見交換を行った。(取材:広報委員会L矢追秀紀)

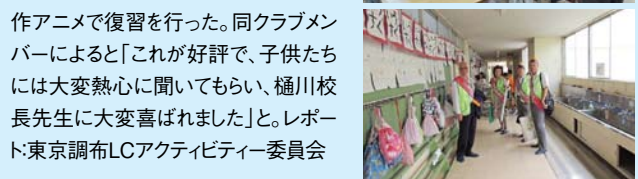
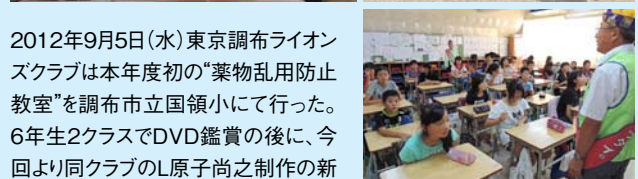
本年度初の薬物乱用防止教室を調布市立国領小にて開催

9月5日

東京調布LC



2012年9月5日(水)東京調布ライオンズクラブは本年度初の“薬物乱用防止教室”を調布市立国領小にて行った。6年生2クラスでDVD鑑賞の後に、今回より同クラブのL原子尚之制作の新作アニメで復習を行った。同クラブメンバーによると「これが好評で、子供たちには大変熱心に聞いてもらい、樋川校長先生に大変喜ばれました」と。レポート:東京調布LCアクティビティ委員会



地区内クラブだより

交通安全ポスター展を実施

9月23日

東京玉川LC



2012年9月23日(日)10R-3Z東京玉川LCは、二子玉川高島屋地下通路に於いて「玉川交通安全ポスター展」を開催し、除幕式を行った。挨拶に立った玉川LC兼益会長代行は、「雨の中、たくさんの方々が訪れ大変感謝して

いる。携帯を見ながらの歩行や、お年寄り、子供の事故が増えており、特に子供達には交通ルールをしっかりと認識して守ってもらうよう指導して行き、その結果、玉川地区に交通事故がなくなるよう努めていきたい」と述べた。また同クラブメンバーで、玉川交通安全協会会長でもあるL大原は、「玉川交通安全ポスター展は今回で24回目を迎える。これらとえに皆様の協力の賜物だ。子供達が一生懸命描いてくれたポスターを全て貼りだす事は出来なかったが、交通安全に対する意識を皆さんで高めて下さる様お願いしたい」と述べた。除幕式では、玉川警察署長、野々社会福祉障害者支援委員会委員長、地元の小学生も参加し、テープカットが行われた。東急田園都市線二子玉川駅に連結されている高島屋地下道では、たくさんの歩行者が足を止め、ポスターに見入っていた。(取材:広報委員会副委員長L山口聖之)



介護付きの老人ホームへ歌と音楽で敬老慰問

10月26日

東京GAIA LC



2012年10月26日(金)東京GAIA ライオンズクラブは介護付老人ホーム「シルバービレッジ八王子西」にバンド「ハートtoハート」を伴って歌と音楽の敬老慰問を行った。同クラブでは毎年実施している

奉仕活動だが、ホームに入居しているお年寄りや施設の関係者らにとっても喜ばれている。今年も通称“変な外人”などと呼ばれる「ハートtoハート」のジェームスさんとフィリップさんは今年で在日38年、したがって日本語はべらべら。演奏会を心待ちにしていた入居者の皆さんが会場を埋め尽くした。演歌や童謡、そしてポップまで幅広い音楽とユーモアたっぷりのおしゃべりで会場は大きく盛り上がった。入居者から演奏者らに花束贈呈があり、ジェームスさんらは一人一人と握手を交わして喜びを表していた。心温まる演奏会であった。東京GAIAライオンズクラブは老人ホームへの演奏慰問をもう10年以上も続けており、この活動はホームの皆さんに大変よろこばれている。



東京ゴルフライオンズクラブが認証状伝達式

8月31日

スポンサークラブ 東京赤坂LC

330-A地区で226番目のクラブとして認証

2012年8月31日(金)東京赤坂ライオンズクラブのスポンサーにより発足した“東京ゴルフライオンズクラブ”が日比谷の「松本楼」にて認証状伝達式を行った。地区内からは約100名のメンバーがお祝いに参加した。阿久津地区ガバナーからチャーターメンバー一人一人にラベルピンが渡され、L安本チャーター会長からは「ゴルフを通じて社会奉仕を!のスローガンで活動していきます。本日はありがとうございます。」と、参加者に対するお礼のあいさつがあった。これで330-A地区では203のクラブとなった。



東京文京LCが50周年記念例会

10月16日

東京文京LC

2012年10月16日椿山荘4Fジュピターにて東京文京ライオンズクラブの50周年記念例会「温もりを絆でつないだ50年」が開催された。例会にはカンボジア王国大使や文京区長、地区ガバナーのほか、姉妹クラブの台北市西区獅子会や友好クラブの水戸西ライオンズクラブのメンバーら多くのゲストがお祝いに駆けつけ、華やかに式典が行われた。東京文京LCは、地域に密着したアクティビティにとどまらず、国際的な貢献も行っており、カンボジアの小学校建設やそのメンテナンスを長きにわたり支援して、海外アクティビティの模範ともいえる継続事業を実施している。祝宴では、文京童謡の会と会場が一体となって懐かしい唱歌や童謡を合唱し、こころ温まる宴席となった。レポート:IT合理化・事務局緊急対応委員会 L赤尾 嘉晃



『骨髄バンクドナー登録500人達成おめでとう!』

9月12日

東京馬場先門LC



東京馬場先門ライオンズクラブ(会長L児玉金之助)は2012年9月12日同クラブの献血、骨髄ドナー登録の呼びかけ活動により、骨髄ドナー登録者が500人を達成したと発表した。「クラブの皆で力を合わせて長年にわたり、献血と同時にドナー登録をお願いしてきました。年間数回継続して大変素晴らしいアクティビティだと思います」。「骨髄移植推進財団の方が献血してくださる方に詳しく説明して骨髄ドナー登録していただいている。東京馬場先門の活躍に敬意を表するとともにこの



先も記録を伸ばし続けられることを願っています」とL吉澤幸男1リジョン1ゾーンのゾーンチェアパーソンもエールを贈っている。

時計塔を設置

10月3日

東京西東京LC



2012年10月3日(水)西東京市保谷庁舎前駐車場ロータリーに時計塔を設置し、西東京市長に対して贈呈式が行われた。同クラブによる設置費用は435,000円とのこと。



西東京の私立幼稚園サッカー協会に協賛

10月27日

東京田無LC

東京田無ライオンズクラブでは2012年10月27日西東京市市民公園グランドにて開催された“第12回西東京市私立幼稚園サッカーリーグ戦”に協賛し、幼稚園児たちに声援をおくった。幼稚園児たちの関心は野球からサッカーに移り、サッカーに興味を持ちプレーする子供たちも若年化している。昨今、こうした幼稚園児たちの大会を協賛する話は珍しい。この日は8チーム250名の選手が参加し、およそ700名の関係者らが声援をおくった。開会式に参加して支援金を渡したクラブメンバーらはかわいい幼稚園児たちのプレーに目を細めていた。



第35回ふるさと渋谷フェスティバルで中学生ポスターと標語を表彰

11月3日

東京新都心LC・東京渋谷LC



渋谷区の代々木公園内渋谷くみんの広場で行われた“渋谷区制80周年2012フェスティバル”「第35回ふるさと渋谷フェスティバル」で同会場内の野外公演ステージにおいて区内の中学生が描いた“薬物乱用防止ポスターおよび標語”の表彰式が行われ、東京新都心ライオンズクラブ、東京渋谷ライオンズクラブが選んだポスター、標語の作者を表彰した。応募は区内の8中学校の生徒約450名からあり、東京新都心LCが選んだのは原宿外苑中学校2年生の生徒の作品。同クラブの会長も、「ライオンズクラブのことを知ってもらえる良い機会、生徒も薬物乱用の恐ろしさを知ってくれている」と生徒らの励みになっていることを喜んでいる。東京渋谷LC会長も「素晴らしい標語を選ばせていただいた」と生徒らの熱意を喜んでた。



2012-2013 主要行事日程表

キャビネット会議

- 第2回 2012年11月26日(月) AP西新宿
※キャビネット構成員
- 第3回 2013年3月18日(月) AP西新宿
※キャビネット構成員
- 臨時第1回 2013年1月21日(月) 東京プリンスホテル
会議・賀詞交歓会 ※元ガバナー・キャビネット構成員
委員会副委員長・委員・SPA・複合地区役員
- 第4回 2013年6月10日(月) 東京プリンスホテル 会議・懇親会
※元ガバナー・キャビネット構成員・委員会副委員長・
委員・SPA・複合地区役員

OSEALフォーラム

- 第52回東洋・東南アジア・ライオンズ(OSEAL)フォーラム 2013年 11月7日～10日=MD308 シンガポール・マレーシア

国際大会

- 第96回国際大会 2013年7月5日～9日 ドイツ、ハンブルグ
- 第97回国際大会 2014年7月4日～8日 カナダ・トロント
- 第98回国際大会 2015年6月26日～30日 米国・ハワイ州ホノルル
- 第99回国際大会 2016年6月24日～28日 日本・福岡
- 第100回国際大会 2017年6月30日～7月4日 米国・イリノイ州シカゴ

年次大会

- 330-A地区(第59回) 2013年4月20日(土) 東京プリンスホテル
- 330複合地区(第59回) 2013年5月12日(日) ホテルニューオータニ

家族会員ライオンズカード 推進委員会からのご案内

家族会員の皆様とともにライオンズクラブの活力ある奉仕活動を

募集要項は後日
クラブ会長あて
ご連絡申し上げます

被災地に元気を! 今わたし達にできることは。

男の料理教室(女性も可)

災害時に即座に炊き出しできる
チーム(タスクフォーム)をつくりましょう
家族会員にはライオンズの奉仕活動に
協力的な潜在力があります



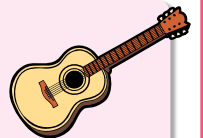
皮から手作り餃子とスープ

2013年2月3日(日) 16:00～ (完成後試食パーティ)

- 定員84名
- 地区内ABCクッキングスタジオ4会場で行います
(銀座・丸の内・汐留・新宿高島屋の各教室を予定)



ファミリーナイト



家ぐるみで奉仕を話し合いましょう
家族会員同士の親睦を図り、ライオンズクラブの奉仕活動を
身近な家族に理解と応援をいただきましょう
※ご入館にはパスポートもしくは運転免許証が必要です

募集しています!

2013年6月1日(土) 17:00～の
米軍施設ニュー山王ホテルでの
カジュアル・サパー・パーティで演奏してください

ライオンズメンバーにおやじバンド結成を計画しています。
ふるってご参加ください
担当: L 齊藤和孝(東京葵ライオンズクラブ)
バンドの応募方法・申し込みは K-saito@berrylife.jpまで



ライオンズクラブ国際協会330-A地区
地区ニュース 第2号(Winter号)

The
Lions
News

発行日 2012年11月20日
発行 広報委員会

広報委員会

委員長 柴田 誠(新都心)
編集長 宇埜 正純(巣鴨)
編集委員 山口 聖之(中央南)
桂 太郎(世田谷)
矢追 秀紀(ウエスト)
新田 尚志(麻布)
荒川友美子(千代田)

編集委員 後藤 裕文(法政)
増田 正明(田無)
中吉 淳喜(羽村)
高橋 美作(羽村)
特派員 秋田 克之(武蔵野)
津守 勝男(大森)
秋保 朋芳(小金井)

ライオンズクラブ国際協会
330-A地区キャビネット事務局
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-10-17
新宿ダイカンプラザB館2F
TEL(03)5330-3330
FAX(03)5330-3370
E-mail cab@lions330-a.org